

2008年度 るみ子の議会報告

都市建設常任委員会
新幹線特別委員会
広域事務組合議会議員
西部地区下水道期成同盟会会長

07年11月12日の大雨災害で、床上浸水被害、河川の氾濫、土砂崩れなどが発生したのに、災害対策本部長の佐々木市長は、私用で留守。帰ってきて現場にもいかず、政治資金集めの後援会とパーティに出席。副本部長の危機管理監（警察からの天下り）も9時に出勤。二人とも役割を果たしていなかった事が、初動対応の遅れになったと追求。

水害常襲地帯となっている石江岡部・三好は、新たに、新城川に排水する薄い感染とポンプ場設置の必要性も含め、効果的な雨水対策を検討する。公共下水道の認可申請もすることになる。

県境の有害産廃を焼却しているRERが焼却灰の入った袋を野積みしていたことを追求してきたが、7年度の調査でそばの川から基準値を大幅に超えるダイオキシンを検出されていたことが判明。館田市議は、創業以来一度も浚渫していない調整池の浚渫を求め、実施させる。

鶴ヶ坂の医療廃棄物を焼却している中間処理施設、テイワックが大量のダイオキシンを発生させていた問題で「排出基準を超過した施設については直ちに稼働を停止させる」とのこれまでの答弁通り、きびしい行政指導を求める。焼却炉と煙道に穴、水漏れなどもあり、焼却炉の痛みが激しいことを明らかにする。（その後、医療廃棄物の処理から撤退する）

自治体の中で、温室効果ガスを一番多く排出しているのが、ごみの焼却施設。その他のプラスチックを分別し、焼却せずに資源化せよと求める。

「新幹線駅前広場のシンボルツリーが北海道のトドマツではおかしいとの声広がっている。再考すべきでないか」と求め、青森ヒバに変更される。



石江の住宅地で水に浸かって動けない自動車



天田内川が氾濫。住宅地に水が押し寄せる。



大量の排ガスを出して焼却するRER



「ナッチャンレラ」通過後に1メートルの超す高波が押し寄せ、漁業被害が出ている問題で、市の対応を求める。